





■パレスチナ西岸地区ジェニン県における有機農法促進を通じた貧困削減事業

パレスチナ西岸地区ジェニン県ザバブデ市における環境保全型有機農業の実施による高品質大麦・小麦の生産と加工食品作成による収入向上、家庭菜園の有機農法指導及び有機認証取得、植樹活動による土地の有効利用

(ア) 有機大麦・小麦の栽培、製品作成指導

当会の環境保全型有機農法(Permaculture 農法、以下 PC 農法)の普及と連動させた収入創出・貧困削減対策の知見を最大限に活かし、大麦・小麦の有機栽培指導を行う。大麦小麦はパレスチナに由来よりあり、本事業では有機農法にて大麦、小麦の栽培指導を実施する。写真は事業地の大麦圃場の様子。

	
大麦圃場	大麦収穫の様子
	
大麦圃場	大麦収穫前の様子

(イ) 家庭有機農業(PC農法)の導入

社会進出の機会が少ない女性を含む農業従事者を対象に幅広く募集を行い、有機農法の基礎知識に関するワークショップを行う。家庭菜園実施に意欲を見せ支援が特に必要な農業従事者を裨益者として選定し有機農法の指導を実施する。写真は当会現事業地のトバス県におけるパーマカルチャ農法の様子。



様々な作物を栽培する家庭菜園の様子



広い農場の様子



家庭菜園で栽培された唐辛子



日本人有機農法専門家が参加者に有機農法の実地指導をする様子

(ウ) 女性を対象とした加工食品作成技術の指導

社会進出の機会が少ない女性を幅広く対象とし、支援が特に必要な女性を裨益者として選定する。本事業により収穫された小麦、有機野菜を用いた食品加工技術習得のためのトレーニングを実施し、収入創出につながる有機農業モデルの構築を行う。写真は当会現事業地トバス県での加工食品の製作の様子。

	
<p>作成したピクルスの瓶詰作業</p>	<p>女性グループの商品開発に関する会議</p>
	
<p>家庭菜園で収穫した唐辛子で作成されたチリソース</p>	<p>スパイシーソース、チリソース。 ラベルのデザインも当商品のために開発、製作された</p>

(エ) 農地の有効利用を目的とした植樹

利用可能な耕作地、未耕作地等の有効利用を目的として、水不足の問題を抱える当地での栽培に適した果樹類の植樹、栽培された果樹を用い地域内外の市場販売に適した食品の商品開発、及び作成指導を実施する。写真は当会現事業地トバス県での植樹の様子。

	
<p>植樹の様子</p>	<p>現事業地近辺にある苗木屋の様子</p>

(オ) 事業地概観写真

事業予定地: パレスチナ西岸地区、ジェニン県ザバブデ市



ジェニン県内



ジェニン県内



ザバブデ市内



ザバブデ市内



ザバブデ市内



ザバブデ市内



ザバブデ市内



ザバブデ市内